

チェンジ国政！板橋の会ニュース

再刊第2号／2025年9月22日(月)

編集／チェンジ国政！板橋の会事務局

連絡先／森川洋典 (メール) yohten435@gmail.com

講演と 賛同人会議

10月4日(土)14時～
文化会館601集会室

講演

「すべての戦争NO～何よりも平和」

講師は北区平和委員会代表の八
百川孝さんです。「政治も経済
も農業も、そして文化もすべての



問題の根っ
こは日米安保条約。
米軍基地国家日
本はもうイヤだ！」
と、熱く語りま
す。講演後に賛
同人会議を開催
します。

酷暑の夏が過ぎていきま
す。もう秋は来ないのかと
ささやきあいました。朝
晩の空気の涼しさがもどっ
てきました。近所の小学校
の校庭からも子どもたちの
元気な声が聞こえてきます。
運動会の練習でしょうか。

ようやく秋めがこ
まじだ！

日頃より「チェンジ国政！板橋の会」の活動にご理解とご協力を
いただき、心より感謝申し上げます。新型コロナ禍以降、賛同人会
議を十分に開催できないまま今日に至りましたことを、この場を借
りてお詫び申し上げます。ようやくこの秋、あらためて賛同人会議
と講演会を開催できる運びとなりました。

私たち「チェンジ国政！板橋の会」はこれまで、「市民と野党の共闘で板橋か
ら政治を変える」を合言葉に行動を積み重ねてまいりました。都知事選・都議補
選においては、立憲民主党、日本共産党、社会民主党、新社会党の四党と市民団
体が手を携え、いたばし版の共闘を実現しました。衆議院選挙では、かねての宿
願であった下村博文氏の落選を果たし、阿久津幸彦氏の当選につなげました。阿
久津氏は現在、財務金融委員会の委員長として国政で力を発揮しています。さら
に2025年の都議選では宮瀬英治氏(立憲)、竹内愛氏(共産)の勝利を実現
し、同年の参院選でも少数与党体制の実現に寄与することができました。これら
一連の成果は、市民と野党が共に歩むことでこそ成し遂げられたものであり、板
橋から全国に広がる希望の証といえるでしょう。

しかし現実の政治は依然として厳しい状況にあります。自民党政治は金権腐敗
を繰り返し、統一教会と癒着する政治家が国民の信頼を踏みにじっています。憲
法を守り、暮らしを第一に据える政治への転換は、いまなお道半ばです。だから
こそ私たちは、この板橋の地から市民と野党の共闘をさらに前進させ、政治変革
の流れを力強く押し広げなければなりません。

別項に記しましたように来る十月四日(土)午後2時より、賛同人会議と時局
にふさわしい講演会を開催いたします。この機会にともに歩む決意を新たに
し、今後の運動をさらに発展させてまいりましょう。多くの皆さまのご参加を、心よ
りお待ちしております。

チェンジ国政！板橋の会事務局長 森川洋典

賛同人ならびに支援者の方へ



左記の「当面の諸取り組みの紹介」にありますように、
平和関係を中心に秋の行事
が計画されています。詳細
はそれぞれの主催団体に問
い合わせをしていただくこ
とにして、チェンジ国政！
板橋の会も協力・支援して
いきます。自民党の総裁選
挙は首のすげ替えだけの茶
番劇ですが、総裁選後にも
しかすると一部の野党も取
り込んだ新与党が結託した
総選挙もあるのではないか
との噂も聞こえてきます。
上記の森川事務局長の訴
えにもあるように、地域か
らの運動を一つ一つ発展さ
せていくこと
が、今、重要
ではないでしょ
うか。



「父と暮せば」朗読劇！

井上ひさしの秀作「父と暮せば」、広島で被爆
をしたが生き残った負い目から「しあわせになっ
てはいけんのじゃ」と恋を禁じた娘・美津江のも
とに、亡くなった父親の竹造が幻になって現れて
「わしの分まで生きてちょんだい」と励まし、見
守る人間ドラマです。被爆80年の今年、板橋区
内で「父と暮せば」の芝居公演ができないものか
と検討しましたが、いろんな事情から実現は叶
いませんでした。板橋の地域から演劇活動を通して
平和を訴え続けている板橋演劇センターの遠藤栄
蔵さん夫婦が、「父と暮せば」の朗読劇にも長く
取り組んでいます。あきらめかけていた「父と暮
せば」の、朗読劇とはいえ、お二人の協力で板橋
公演が実現します。10月13日(月・祝)の午
後、文化会館大会議室です。戦後80年、被爆8
0年の今年の秋、いろんな平和に関わる行事が目
白押しですが、コンサートなどの文化的な催しの中
での「父と暮せば」の朗読劇、是非鑑賞くだ
さい。美津江と竹造の熱く悲しく、そして父と娘
のお互いを思いやる必死な押し問答に必ずや心打
たれます。

(武田 仁)

当面の諸取り組みの紹介

- 9月30日(火) 平和ネット第11回稲刈会
18時～グリーンホール503
- 10月4日(土) チェンジ講演会と賛同人会議
14時～グリーンホール601
- 10月5日(日) オール板橋車載講座
「板橋・赤羽から問う再開発の現在」
13時半～グリーンホール701
- 10月12日(日) 14時～カメラアホール
「孫たちのために平和を」コンサート
- 10月13日(月) 「父と暮せば」朗読公演会
14時～文化会館大会議室
- 10月18日(土)～26日(日) わらび座公演
新宿ゼロ・ホール
- 10月27日(月) 平和ネット第12回稲刈会
18時～仲宿地域センター2階
- 10月29日(水) 板橋教歌おう会コンサート
14時～グリーンホール1階ホール
- 11月16日(日) 成増平和パレード
13時半～成増北口駅前広場
- 11月20日(木) チ木下そんきコンサート
17時～グリーンホール1階ホール
- 11月24日(月) われわれ祭り
11時～高島平区民館ホール



板橋区民まつりでの「自衛隊ブース設置」

見直しを求めて「申し入れ書」を提出！

昨年の板橋区民まつり
の自衛隊ブースに掲げら
れた「そうだ！自衛官に

なろう」の幟です。隣に
は戦闘車両の「軽装甲機
動車」が並び、子どもた



ちが行列を
作って乗車
体験の順番
を待ってい
ました。九

月二十二日、区内の諸団
体呼びかけて、急遽対
応できた団体連名で左記
の申し入れ書を「板橋区
民まつり実行委員会」
（板橋区・板橋区観光協
議会）に提出しました。
子どもを巻き込んだ騙し

の戦争準備は許せません。
最近、自衛隊関係の問題
ある動きが全国的に顕著
ですが、板橋区内におけ
る「ジュニアサバイバル
スクール」「子ども防衛
白書の学校配布」等の件
でもチェンジ国政！板橋



の会は区の適切な対応を
求める要請を重ねてきた

「ご意見・ご提案の投稿をお待ちして
います。」

とところです。着々と進め
られる戦争準備、これら
の動きを引き続き、注視
していきます。



賛同人の皆様やご支援してくださる皆様との
意見交換がなかなかできずにいます。賛同人会
議も大事な場ですが、定期発行を予定している本
ニュースでも皆様のご意見・ご提案を募ってい
ます。ご協力をお願い致します。「年末に、大
忘年会をやりたいね。楽しいことも企画して！」
の声が最近届きました。数年前には、2、3度
百名を超える人数でビアパーティもしました。
あの熱気と楽しさ、良いですね。さて、今年の
年末に取り組めるでしょうか。

【後記】

●今年も残り3ヶ月となりました。クマの出現が
各地で起き、「駆除する！」の文字が新聞に踊っ
ています。私の退職教職員の仲間（女性）が絵本
を自費出版しました。その最初のページに「クマつ
て、こわいの？わるものなの？」と記され、40
ページにわたって自作の絵とともに「なぜ、動物
と共存できないの！」を子どもたちに考えさせて
くれます。人間社会が、今問われている「共存」
の課題を、私たち大人にもするべく問いかけてい
ます。是非ご一読を！

●久しぶりの「賛同人会議」が開催されます。1
20名分の席を用意しました。お忙しい中とは存
じますが、ご出席いただけましたら幸いです。

●1面に一部紹介しましたが、10月以降も諸取
り組みが計画されています。こちらにも是非ご参
加ください。また、諸情報の提供をお願いします。
（編集担当T）

申し入れ書 自衛隊ブースの出展内容を見直してください

昨年、板橋区の「区民まつり」会場には自衛隊のブースが設けられ、「軽装甲機動車」の展示や「そうだ！自衛官になろう」という旗が掲げられていました。子どもが車両に乗り込み記念写真を撮る姿に、多くの来場者が列をなしていました。

確かに、自衛隊には災害派遣という重要な役割があります。私たちもその献身的な活動を目にしてきました。しかし、専守防衛の実力組織であるはずの自衛隊は、2015年の安保関連法や2022年の安保三文書改訂を経て、その姿を大きく変えています。軍事費は大幅に増加し、「敵基地攻撃能力」の保有や殺傷兵器の製造・輸出が進み、日本の安全保障政策は大きく転換しました。沖縄や南西諸島では基地建設や大規模演習が進み、現実の軍事的緊張は高まっています。

こうした状況の下で、「区民まつり」という場に「軽装甲機動車」を持ち込み、子どもたちに「カッコいい」と感じさせる展示を行うことは、単なる地域交流や災害啓発にはとどまりません。軽装甲機動車は戦略機動や戦場機動に使用され、機関銃の車載射撃や01式対戦車誘導弾の車上射撃が可能な武器です。つまり、軽装甲機動車は単なる防御用車両ではなく、機関銃や対戦車誘導弾を搭載できるため、攻撃能力を備えた軍事兵器＝武器としての性格を持つものです。

私たちは自衛隊の存在そのものを否定するものではありません。しかし、違憲か合憲かをめぐって国民の間で論争が続いていることも事実です。自衛隊ブースを訪れた子どもたちが、自衛官の仕事の全体像を理解しないまま、災害派遣のイメージに惹かれて志願するだけでなく、実際には武器使用や戦闘参加そのものへと誘導されかねないことを、私たちは強く危惧します。そこでは、敵からの攻撃にさらされる危険や戦闘の恐ろしさは語られず、むしろ武器に触れ、武器に親しみ、憧れを抱かせる仕掛けがなされているように見えます。

このように、「区民まつり」の場で子どもたちを武器に近づけ、将来の自衛官志願につなげようとする展示が行われることには強い懸念を抱きます。以上の理由から、「軽装甲機動車」を持ち込むような、「板橋区民まつり」における自衛隊ブースの出店は、この時期・この状況においては不適切であると考えます。

「板橋区民まつり」実行委員会にあつては、自衛隊ブースの展示内容を見直すよう求めます。自衛隊に内容の見直しを働きかけることを要請します。

2025年9月22日

チェンジ国政！板橋の会／戦争反対！憲法改悪を許さないオール板橋／いたばし九条の会／板橋宿九条の会／大山九条の会／かみいた九条の会／桜川九条の会／赤塚・成増九条の会／高島平九条の会／原水爆禁止板橋協議会他

〈連絡先〉 チェンジ国政！板橋の会（森川洋典・090-8728-1983）
戦争反対！憲法改悪を許さないオール板橋（高尾 誠・090-8850-3126）